

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 川崎病における冠動脈瘤破裂の病理組織学的特徴』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋病院

研究責任者 病理診断科 職位・氏名 准教授 横内 幸

【試料・情報の利用目的】

川崎病は小児に好発する全身性血管炎であり、冠動脈瘤の形成が特徴的です。免疫グロブリン大量静注療法の普及により重篤な瘤形成の頻度は減少しましたが、現在も瘤破裂による死亡例が少数存在しており、その病態解明は未だ十分ではありません。

本研究では、川崎病により冠動脈瘤破裂を来した剖検例を用いて、冠動脈瘤の病理組織像を検討します。取得した試料・情報は冠動脈瘤破裂の機序を解明し、瘤破裂に至る危険因子や病理学的背景を明らかにすることを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、川崎病における致死的合併症の予測と管理につながります。

【試料・情報の取得方法】

対象:1970年4月～2008年12月までに、他施設で病理解剖され、東邦大学医療センター大橋病院病理診断科に研究のため提供され保管されている川崎病剖検症例試料です。

方法:当施設に保管されている病理標本を再検討し、免疫染色を行って冠動脈病変に浸潤する炎症細胞の形質を同定します。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:病理解剖された川崎病の患者様の病理標本

情報:年齢、性別、川崎病発症から死亡までの病日、病歴(冠動脈に関する所見)、治療歴

剖検例の試料・情報は、剖検施設から氏名や住所などの個人を特定できる情報が削除された状態で送られており、当施設では別の番号が付された状態で保存されています。そのため、個人を特定することができない状態となって保存されています。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年9月より利用を開始します。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院病理診断科

研究代表者: 横内 幸 役職: 准教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科 研究代表者：横内 幸

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科 研究代表者：横内 幸

本研究に関してご質問のある方は、2025年12月28日までに下記へご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科

職位・氏名 准教授 横内 幸

電話 03-3468-1251 内線 3430